学生の確保の見通し等を記載した書類

令和８年９月

国立大学法人香川大学

目　次

（１）収容定員を増加する組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

① 収容定員を増加する組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

② 収容定員を増加する組織の特色　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

（２）人材需要の社会的な動向等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

① 収容定員を増加する組織で養成する人材の地域的動向　・・・・・・・・・　３

② 定員充足の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

③ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要　・・・・・・・・・・・・・・　５

⑶学生確保の見通し　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

⑷学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果　・・・・・・・・・・・・　５

（４）添付資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

（１）収容定員を増加する組織の概要

①　収容定員を増加する組織の概要

収容定員を増加する組織	入学定員	2 年次編入学定員	収容定員	所在地
香川大学医学部医学科	106	5	670	香川県木田郡三木町池戸 1750-1

②　収容定員を増加する組織の特色

香川大学は、「豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた課題探求能力を備え、国際的に活動できる人材を育成する」ことを教育目標としている。医学部では基本理念として、世界に通ずる医学、看護学及び臨床心理学の教育研究と、医学、看護学及び臨床心理学の進歩、人類の福祉さらに地域の医療及び心理援助の向上に貢献し、人間性の豊かな医療人及び心理援助者、並びに医学、看護学及び臨床心理学の研究者の育成を目的としている。

1.　医師・医学研究者の育成

幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者を育成する。

2.　高度な専門知識、技術、科学的思考力と判断力

現代の医療・医学研究においては、自ら課題を探求し、それを解決できる高度な専門知識と技術、科学的思考力、判断力をもった医師・医学研究者が求められており、生涯を通じて自己学習する基本的態度、問題解決能力を持つ人材を育成する。

3.　地域への貢献

地域に根ざした医療人として地域医療に貢献し、地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことのできる医師・医学研究者を育成する。

4.　医療職としての国際的視野

国際交流や国際貢献のためのコミュニケーション能力と国際的視野を持つ医師・医学研究者を育成する。

（２）人材需要の社会的な動向等

①　収容定員を増加する組織で養成する人材の地域的動向

地域における医師不足の解消は喫緊の課題であり、「緊急医師確保対策」（平成 19 年 5 月 31 日政府･与党取りまとめ）に基づき、平成 21 年度に開始された暫定的定員増が示された。これに基づく暫定的定員増は平成 29 年度までの実施とし、平成 30 年度には「新成長戦略」

等を踏まえ地域の医師確保等の観点から平成 31 年度までの期限を付した再度の臨時定員増となった。令和元年度には、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」を踏まえ、地域の医師確保等に早急に対応するため、(1)地域の医師確保のための入学定員増　(2)研究医養成のための入学定員増　(3)歯学部入学定員削減を行う大学の特例が示された。

令和４年度、５年度及び６年度については、令和２年８月 31 日の「医療従事者の需給に関する検討会 第 35 回医師需給分科会」における医学部臨時定員の方針等に関する議論を踏まえ、前述の(1)については、暫定的に令和２・３年度と同様に設定することとされたが、令和７年度についても引き続き、令和６年度に認可を受けた医学部総定員数を上限として設定することとされた。

最新の医師偏在指標（令和８年４月公表）によると、本県は 273.4 となり、昨年度までの上位 33.3%の「医師多数県」からは外れた形となっている。これを２次医療圏ごとに見ると、全国平均を上回っているのは東部保健医療圏(318.5)のみで、西部保健医療圏は 224.0 で全国平均以下であり、特に離島である小豆医療圏は 153.8 と全国平均を大きく下回り下位 33.3%の「医師少数区域」となっている。

香川県では、令和６年３月に策定した香川県医師確保計画（令和６年度～令和８年度）において、小豆保健医療圏を医師少数区域に、大川圏域及び三豊圏域を医師少数スポットとして定めるとともに、これら医師不足地域等に所在する医療機関を地域枠の重点配置病院群に位置付け運用するなど、地域枠医師を本県の大きな課題である地域偏在の解消に不可欠な人材と位置付けている。

このほか、本県の医療施設に従事する 45 歳未満の医師数は全体の 35.3%で、全国平均の 40.5%を大きく下回っている状況であり、若手医師の不足への対応は喫緊の課題であり、若手医師の確保に向けた取組も進める必要がある。

これらのことを踏まえ、本学では、前述(1)の地域の医師確保のための入学定員増に基づき、香川県と連携し、地域の医師確保にかかる香川県医学生修学資金を活用して地域医療に従事する明確な意志を持った学生の選抜枠を設定する。　**（資料1）**

②　定員充足の状況

・入学定員設定の考え方

地域における医師不足解消は全国的に大きな問題である。香川県においても地域の医師確保等に早急に対応するため、香川県と協議の結果、香川県の医師確保にかかる奨学金を活用し、香川県内の高等学校の卒業者及び卒業見込みの者を対象とする地域医療に従事する明確な意志を持った学生の選抜枠を設定し、入学定員を 11 名増員する計画に至った。

医学部医学科は、①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者、②自ら課題を探求し、それを解決できる高度な専門知識と技術、科学的思考力、判断力を備える医師・医学研究者、③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し、地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者、④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研

究者を育成する。香川大学は、「地域に根ざした大学」を目指しており、特に、③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し、地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる人材の育成を主眼とする。

香川県は、将来医師として香川県内で地域医療に従事しようとする者を対象とした「医学生修学資金貸付制度」を実施しており、これまで 136 名の貸与者が卒業し、県内の主要な医療機関にて地域医療に従事している。また、香川大学医学部医学科在籍者で、現在香川県の奨学金を貸与されている者の総数は 88 名おり、これらを総合的に判断し、11 名の定員増員は十分に確保可能と見込まれる。

③　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本学医学部医学科の入学志願倍率は、令和７年度の推薦選抜における地域枠の志願倍率は 8.4 倍、一般選抜（前期日程）における地域枠志願倍率は 5.2 倍、総志願倍率は 4.4 倍、令和８年度の推薦選抜における地域枠志願倍率は 6.3 倍、一般選抜（前期日程）における地域枠志願倍率は 6.0 倍、総志願倍率は 5.1 倍となっており、充分な志願者の確保ができている。また、令和８年度入学志願者に占める香川県出身者は 132 名と昨年度を超える志願者数となっている。また、別枠にて実施される 14 名（令和 7 年度、8 年度は 11 名）の増員に係る入学志願者についても、平成 29 年度 82 名、平成 30 年度 39 名、平成 31 年度 53 名、令和 2 年度 71 名、令和 3 年度 63 名、令和４年度 69 名、令和５年度 74 名、令和６年度 89 名、令和 7 年度 89 名、令和 8 年度 92 名といずれの年度も定員の 2.8～6.6 倍の高い水準にある。**（資料2）（資料3）**

また、香川県内で医療に従事している香川大学卒業者のうち、県内出身者の占める割合は、令和元年度卒業者で 49%、令和２年度卒業者で 72%、令和３年度卒業者で 54%、令和４年度卒業者で 68%、令和５年度卒業者で 53%、令和６年度卒業者で 64%、令和 7 年度卒業者で 62%である。これらから、入学志願者の中でも県内出身者は、卒業後、県内の地域医療に従事する割合が高く、地域医療の充実に強く繋がっている。**（資料4）**

設定した香川県医学生修学資金の貸与を前提とした地域枠には今後も多くの希望者が見込まれることから、医学部医学科においては、11 名の定員増員の充足は十分に可能と判断でき、県内の地域医療への貢献に極めて有効であると考えられる。

（３）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

本学では、学生募集要項の公開に限らず、オープンキャンパスをはじめとした以下の様々な取組を行い、学生確保に努めている。

1.　オープンキャンパス・入試個別相談会

医学部では、毎年 8 月初旬にオープンキャンパスを開催している。参加者は増加を続けており、令和元年度は 370 名を超える参加があった。スキルスラボ体験、模擬実習、施設

見学、在学生との懇談会などを実施しており、いずれも参加者から好評を得ているため、学生確保のためのＰＲには絶好の機会であった。しかし、新型コロナウイルスのため、令和２年度は中止、令和３年度は対象を香川県に限って内容を絞って開催した。令和４年度以降は香川県内に限ることなく 130 名の定員を設けて募集したところ、定員を超える参加希望があった。定員超過により来場できなかった希望者には、後日、収録した動画の配信を案内しているため、充分にＰＲができたと考えられ、学生確保の効果が期待できる。

また、入試個別相談会も実施しており、香川県の医師確保にかかる奨学金を活用した香川県内の高校の卒業者を対象とする地域医療に従事する明確な意志を持った学生の選抜枠及び一般の学生選抜について、更なるＰＲを行っている。

2. 高校等訪問

毎年、５月～９月下旬にかけて、多数の受験生を本学に送り出している県内 12 校程度の高校に対し、生徒を対象にした入試概要、各学科の特色などの説明会を実施して進学を呼びかけている。入学定員の増員が認められ次第、「収容定員の変更」と「香川県の医師確保にかかる奨学金を活用した香川県内の高校の卒業者を対象とする地域医療に従事する明確な意志を持った学生の選抜枠」についての説明・情報を発信することにより、地域枠の魅力をＰＲすることができ、学生確保の効果が期待できる。また、平成 31 年度より推薦入試の志願者を既卒者（１浪）も可能としたことに伴い、予備校が主催する説明会への資料提供も行っている。

3. リーフレット、広報誌等各種媒体による広報

臨時定員増による定員枠を用いた学生募集を行うことが認められたことにより、リーフレット、広報誌等にその概要等を掲載し、香川県の医師確保にかかる奨学金を活用した、香川県内の高校の卒業者を対象とする地域医療に従事する明確な意志を持った学生の選抜枠についての情報を発信する。その他にも、新聞や受験誌へ掲載することにより、宣伝効果の増加が期待できる。

4. ウェブサイトによる広報

臨時定員増による定員枠を用いた学生募集を行うことが認められたことにより、本学のホームページにその概要等を掲載し、香川県の医師確保にかかる奨学金を活用した、香川県内の高校の卒業者を対象とする地域医療に従事する明確な意志を持った学生の選抜枠についての情報を発信していく。

5. 高大接続事業

高校生時から学生の確保を開始するため、高校と連携して高大接続推進事業を展開しており、教員が高等学校等に出向いて講義する出前講義を実施している他、新型コロナウイルスのため中止していた香川県内３医療系大学（香川大学・徳島文理大学・香川県立保健

医療大学）によるサイエンスキャンプを再開した。令和８年８月には本学で「データで病気を読み解こう！～遺伝子・免疫・健康データから予防医療へ」をテーマに実施し、参加の高校生は、データから病気を知る講義後にそれぞれのデーマで班に分かれ、実際にグラフやデータから読み取る体験をし、読み取った結果の発表を行った。

令和２年度から令和４年度は、新型コロナウイルスのため、オンライン説明会の実施や、新たに学部・学科紹介動画を作成して、香川大学公式 YouTube チャンネルにて公開するなど、対面式の広報活動が制限される中でも、積極的に広報活動を行った。令和５年度以降は対面での実施を再開し、希望する高校からの大学訪問も随時受入れている。

6.　県内高校出身者の確保

2024 年度に実施する 2025 年度入学者選抜の改革（2023.3 月　2 年前告知済）**（資料5）**

(1)2024 年度に実施する 2025 年度入学者選抜から、医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱの地域枠（学校推薦）及び医学部医学科一般選抜（前期日程）の地域枠（一般）の出願に本学で実施する地域医療セミナー受講を要件とすることで、地域枠志願者が地域医療について十分に理解した上で出願できる環境を整備し、入学後の離脱抑制を図る。

※令和 5 年度オープンキャンパスにてプレ実施、令和 6 年度に本実施を行い、多数の出席者がセミナーを受講した。令和 8 年度は 6 月と 10 月の 2 回実施を予定している。

(2)2024 年度に実施する 2025 年度入学者選抜から、医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱの推薦要件の緩和、香川県内高校からの推薦枠を拡充し、県内出身者の入学者増加を図り、香川県内での研修医の増加に繋げる。

2027 年度に実施する 2028 年度入学者選抜の改革（2026.3 月　2 年前告知済）**（資料6）**

本学医学部医学科では、2028年度学校推薦型選抜入試より従来の学校推薦型選抜の通常の推薦枠を廃止し、医師免許取得後、香川大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムの研修施設で 2 年間の研修を修了し、引き続き本学を基幹施設とする専門研修プログラムに登録し１年間研修することを出願要件とする『次世代枠』を新設することとした。これにより県内出身者の入学者増加を図り、卒業後、計３年間、本学附属病院や地域の研修施設に医師として在籍することを条件付けることで、地域医療を支える医師の養成をより一層推進し、香川県内での研修医の増加に繋げる。

（４）添付資料

資料１：地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書（香川県健康福祉部長）
資料２：香川大学医学部医学科入学者選抜試験受験状況一覧
資料３：香川大学医学部医学科志願者応募状況一覧（都道府県別）
資料４：香川大学医学部医学科卒業者における県内就職数に占める香川県内出身者の割合
資料５：県内高校出身者の確保のため医学科入学者選抜（地域枠・県内高校出身枠）に関する変更点
資料６：県内高校出身者の確保のため医学科入学者選抜（次世代枠）に関する変更点

資料1

８医政第１１７７３９号
令和８年８月１２日

厚生労働省医政局長　殿

香川県健康福祉部長　長尾　英司

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和８年８月７日付け８文科高第 732 号、医政発 0807 第１号に基づき、下記のとおり、令和９年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。
地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数
１１名
・香川大学医学部における地域枠：１１名

担　　当：香川県健康福祉部医療政策課
医療人材グループ　篠原、村上
電話番号：０８７－８３２－３３２１
Ｅｍａｉｌ：imu@pref.kagawa.lg.jp

資料2

香川大学医学部医学科入学者選抜試験受験状況一覧

入学者選抜年度		志願者数（人）	入学者数（人）	志願倍率	定員（人）	定員充足率（%）
令和8年度	総数	541	106	5.1	106	100
	地域枠（学校推薦）	38	6	6.3	6	100
	地域枠（一般）	54	9	6.0	9	100
令和7年度	総数	466	106	4.4	106	100
	地域枠（学校推薦）	42	5	8.4	5	100
	地域枠（一般）	47	9	5.2	9	100
令和6年度	総数	514	109	4.7	109	100
	地域枠（学校推薦）	32	5	6.4	5	100
	地域枠（一般）	57	9	6.3	9	100
令和5年度	総数	392	109	3.6	109	100
	地域枠（学校推薦）	24	5	4.8	5	100
	地域枠（一般）	50	9	5.6	9	100
令和4年度	総数	612	109	5.6	109	100
	地域枠（学校推薦）	23	5	4.6	5	100
	地域枠（一般）	46	9	5.1	9	100
令和3年度	総数	447	109	4.1	109	100
	県民医療推進枠	19	5	3.8	5	100
	地域医療推進枠	44	9	4.9	9	100
令和2年度	総数	799	109	7.3	109	100
	県民医療推進枠	28	5	5.6	5	100
	地域医療推進枠	43	9	4.8	9	100
平成31年度	総数	827	109	7.6	109	100
	県民医療推進枠	24	5	4.8	5	100
	地域医療推進枠	29	9	3.2	9	100
平成30年度	総数	722	109	6.6	109	100
	県民医療推進枠	11	5	2.2	5	100
	地域医療推進枠	28	5	5.6	9	56
平成29年度	総数	1,000	109	9.2	109	100
	県民医療推進枠	37	5	7.4	5	100
	地域医療推進枠	45	9	5.0	9	100

※「県民医療推進枠」「地域医療推進枠」「地域枠（学校推薦）」「地域枠（一般）」は総数の内数で示す。

※令和4年度より地域枠の定義の整理のため名称変更

県民医療推進枠 → 地域枠（学校推薦）　地域医療推進枠 → 地域枠（一般）

資料3

香川大学医学部医学科志願者応募状況一覧（出身都道府県別）

入学者選抜年度	志願者総数（人）	香川県出身（人）	岡山県出身（人）	兵庫県出身（人）	大阪府出身（人）	その他（人）	香川県出身者の割合（%）
令和8年度	540	132	45	52	53	258	24.4
令和7年度	466	127	31	52	44	212	27.3
令和6年度	514	134	50	40	50	240	26.1
令和5年度	392	119	49	32	35	157	30.4
令和4年度	612	118	46	47	60	341	19.3
令和3年度	447	107	40	29	53	218	23.9
令和2年度	799	176	99	85	91	348	22.0
平成31年度	827	183	105	82	81	376	22.1
平成30年度	722	158	96	59	50	359	21.9
平成29年度	1000	190	119	104	83	504	19.0

香川大学医学部医学科卒業者における県内就職数に占める香川県内出身者の割合

卒業年度 / 就職先等	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
卒業者数	106	(33)	111	(31)	118	(30)	114	(30)	114	(25)
香川県内就職者	38	(24)	39	(25)	38	(20)	40	(27)	28	(15)
香川大学医学部附属病院	14	(9)	21	(16)	15	(6)	24	(16)	13	(8)
香川県立中央病院	6	(5)	6	(4)	6	(2)	4	(4)	3	(1)
三豊総合病院	1	(1)	2	(0)	2	(1)	3	(2)	3	(0)
高松平和病院			1	(0)			0	(0)	1	(0)
四国こどもとおとなの医療センター	1	(0)					2	(1)	0	(0)
高松赤十字病院	8	(6)	6	(3)	6	(6)	3	(1)	7	(5)
独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院	4	(2)	2	(2)	5	(2)	4	(3)	1	(1)
医療法人財団大樹会総合病院回生病院							0	(0)	0	(0)
個人事業					1	(0)				
高松市立みんなの病院	3	(1)	1	(0)	3	(3)				
株式会社川六	1	(0)								

（　）内は、香川県出身者数を内数で示す

医学部医学科　入学者選抜（地域枠・県内高校出身枠）における変更について

2025年度入学者選抜から，医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱの地域枠（学校推薦）及び医学部医学科一般選抜（前期日程）の地域枠（一般）の出願資格に以下の要件を追加します。

【追加する出願資格】

2024年度に本学で実施する地域医療セミナーを受講した者

2025年度入学者選抜から，医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱの推薦要件及び推薦人員を以下のとおり変更します。

【変更前：推薦要件】

高等学校における学習成績が優秀で，かつ，調査書の学習成績概評がA段階に属する者

【変更後：推薦要件】

高等学校における学習成績が優秀で，かつ，調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者

【変更前：推薦人員】

卒業見込者：１校につき８人までとします。
既　卒　者：１校につき１人までとします。ただし，香川県内の高等学校については，１校につき７人までとします。

【変更後：推薦人員】

卒業見込者：１校につき８人までとします。ただし，香川県内の高等学校については，１校につき10人までとします。
既　卒　者：１校につき１人までとします。ただし，香川県内の高等学校については，１校につき10人までとします。

（注）2025年度入学者選抜から変更する箇所に下線を引いています。

2028 年度香川大学医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱにおける変更について

２０２６年３月
香　川　大　学

経済財政運営と改革の基本方針 2024（令和 6 年 6 月 21 日閣議決定）を受け、医師養成過程を通じた医師確保対策の充実の観点から地域枠・地元出身入学者枠の設定・拡充が求められています。本学も医学部を擁する国立大学として、新たな地域医療構想において一層の貢献が求められる背景があります。

そこで、本学医学部医学科では、従来の学校推薦型選抜の通常の推薦枠を廃止し、医師免許取得後、香川大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムの研修施設で 2 年間の研修を修了し、引き続き本学を基幹施設とする専門研修プログラムに登録し 1 年間研修することを出願要件とする『次世代枠』を新設します。

計 3 年間、本学附属病院や地域の研修施設に医師として在籍することを条件付けることで、地域医療を支える医師の養成をより一層推進してまいります。推薦型選抜の入学試験枠の一部変更に際して選抜方法における科目の変更はありません。

【変更前】

選抜方法	大学卒業後の条件	修学資金貸付
通常の推薦枠	なし	なし
地域枠	あり（9 年間）	あり

⬇

【変更後】

選抜方法	大学卒業後の条件	修学資金貸付
次世代枠	**あり（3 年間）**	なし
地域枠	あり（9 年間）	あり

新設する次世代枠においても現行の一般枠と同様、募集人員のうち県内高校出身枠を設け、出願機会に急激な変更が生じないよう定員の配分に配慮します。